

(1)環瀬戸内海地域における交流状況等の 話題について

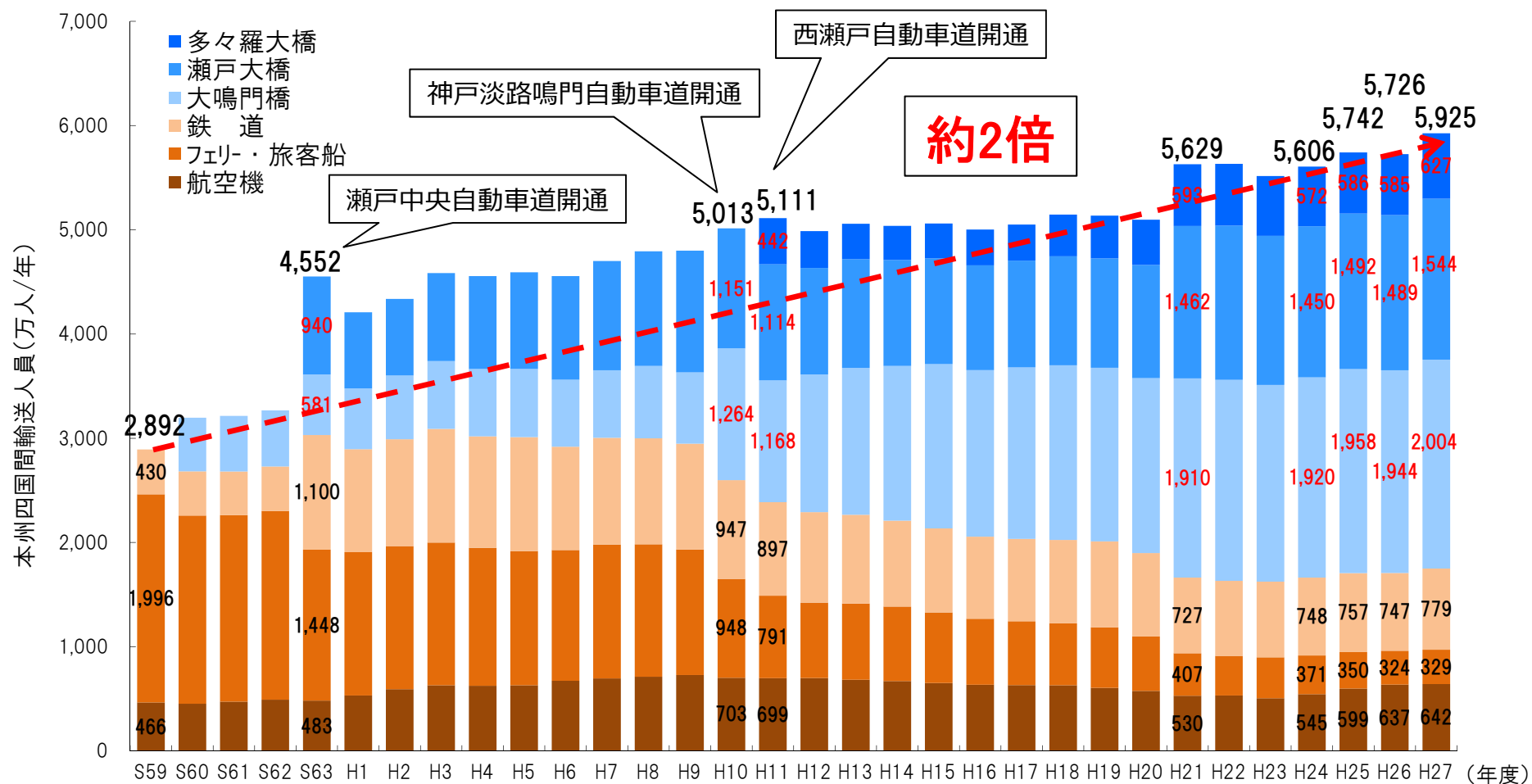
①本州四国間の交流状況について

P1

本州四国間の交流(人の交流)

- H27年度の交流人口は5,925万人／年であり、H26年度に対して約3.5%増加。
- S59年度以降、長期的には約2倍に増加している。

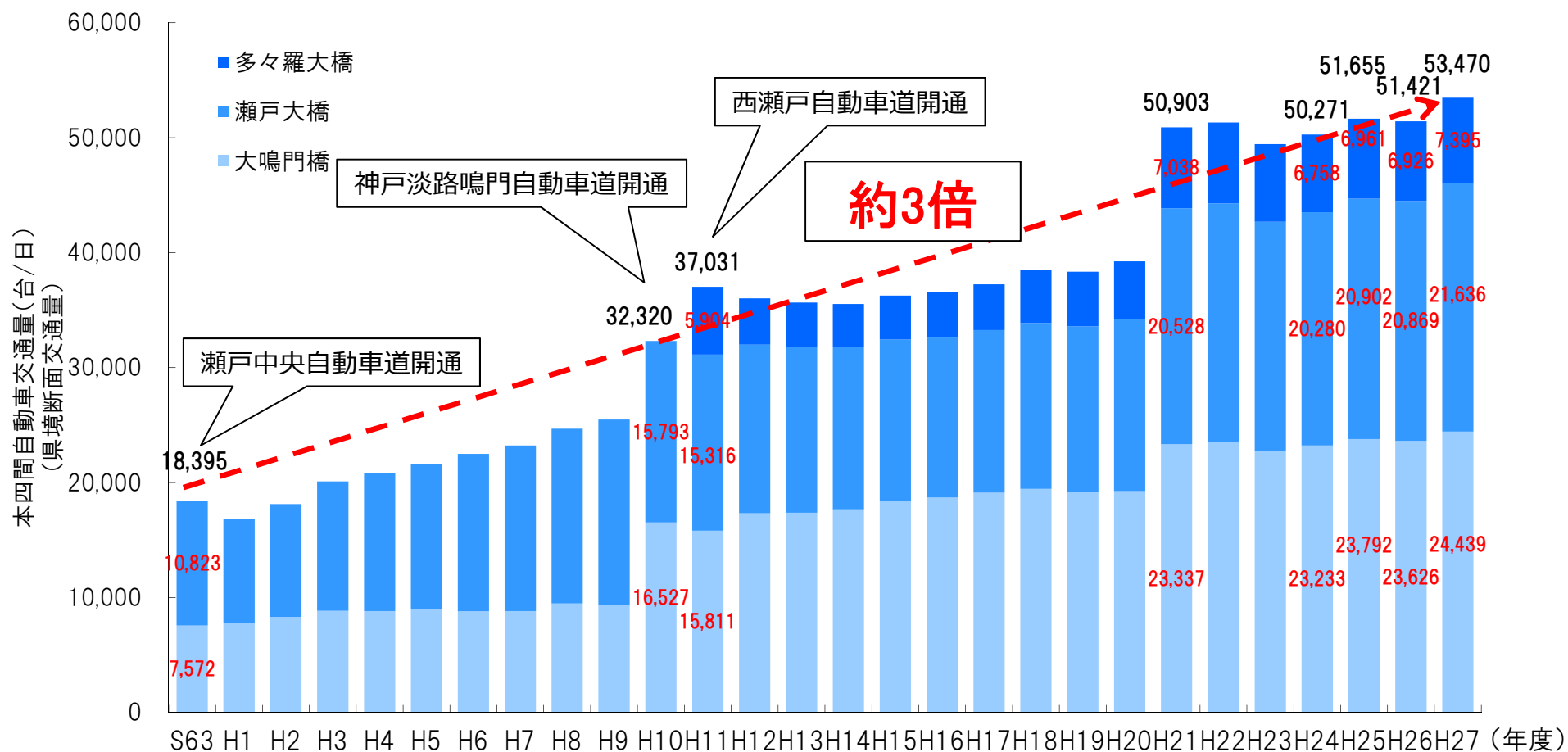
◆交通機関別の本州四国間輸送人員の推移



交通量の状況（本四間自動車交通量(県境断面交通量)）

- H27年度の本四間自動車交通量（本四3橋）は53,470台／日であり、H26年度に対して約4％増加。
- 瀬戸中央自動車道開通後のS63年度以降、長期的には約3倍に増加している。

◆本州四国間の自動車交通量の推移



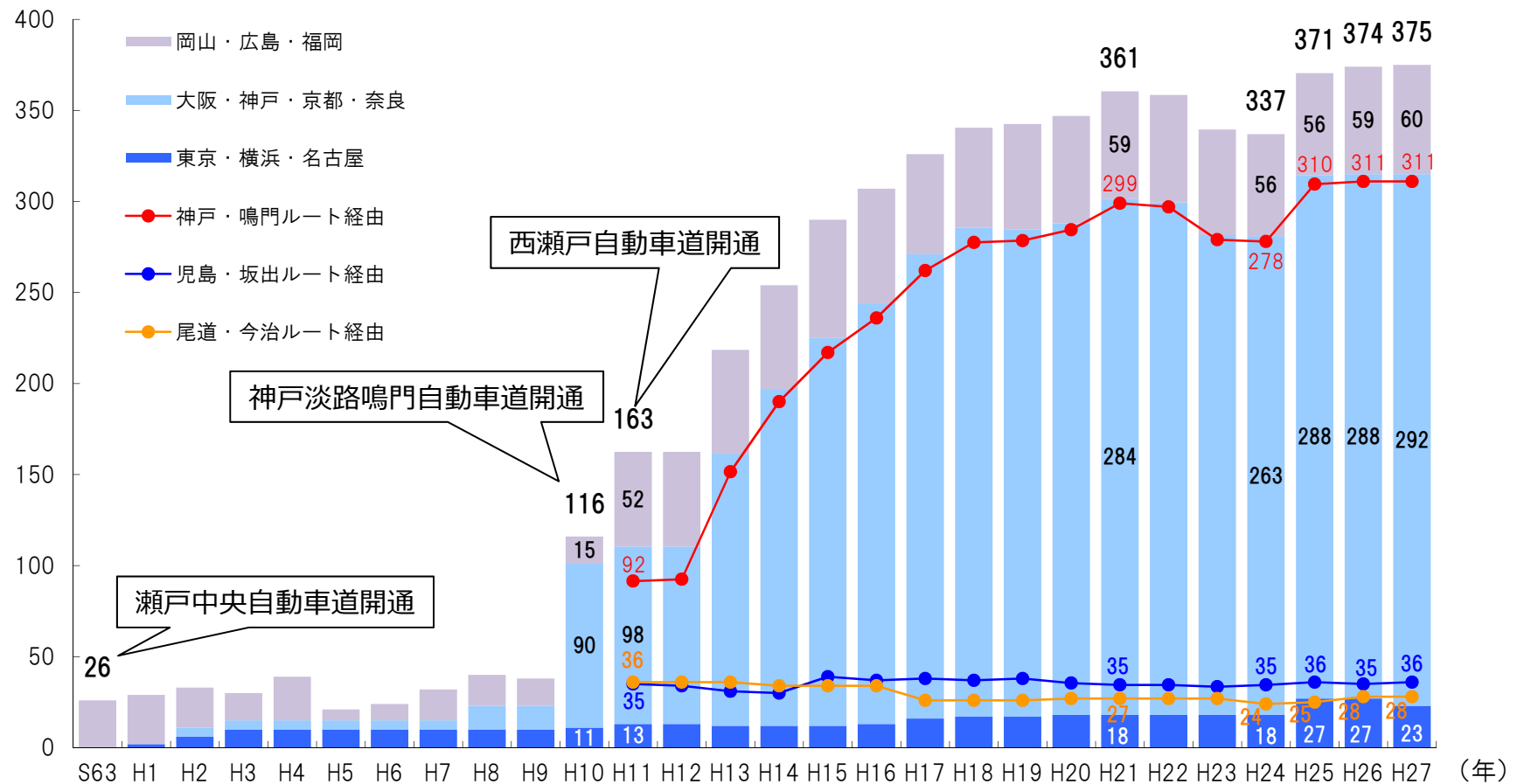
出典）本州四国連絡高速道路株式会社

本州四国間の交流(人の交流)

- 神戸淡路鳴門自動車道開通後のH10年以降、京阪神と四国を結ぶ高速バス路線を中心に大幅に増加。
- H27年の本四間高速バス便数は375便/日であり、H26年に対して1便/日増加。

◆本州四国間高速バス便数の推移

(往復便数/日)



出典)「四国運輸局要覧」(四国運輸局)ほか
注:各年10月時点の便数

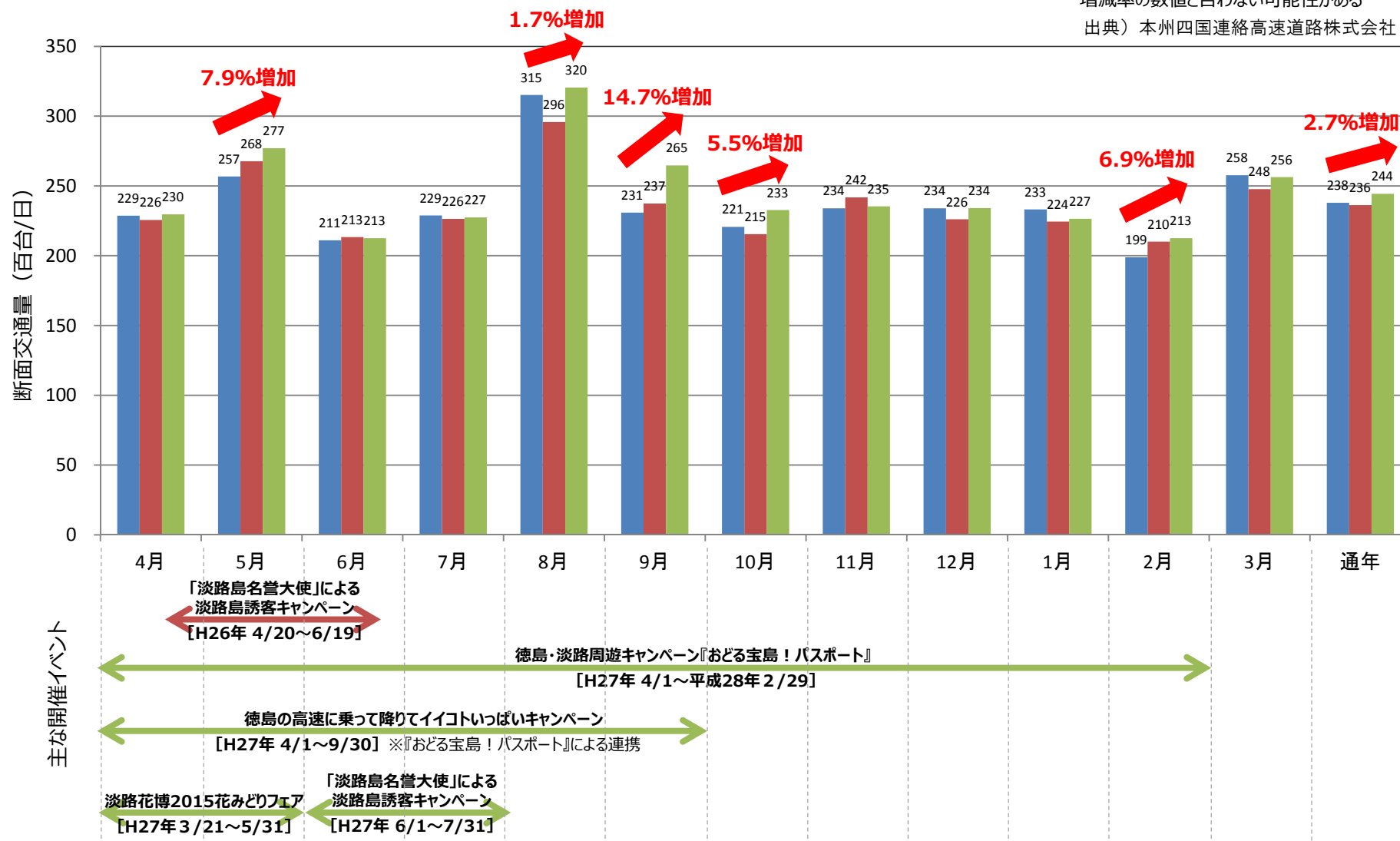
平成27年4月以降の交通量の変化（大鳴門橋）

○神戸淡路鳴門自動車道（大鳴門橋）の平成27年度の平均断面交通量は、過去2箇年に対し増加傾向。

【大鳴門橋断面の日平均交通量の変化（■H25年度⇒■H26年度⇒■H27年度）】

※増減率はH27年度/H25年度
グラフの交通量は100台単位で表示しているため、増減率の数値と合わない可能性がある

出典）本州四国連絡高速道路株式会社



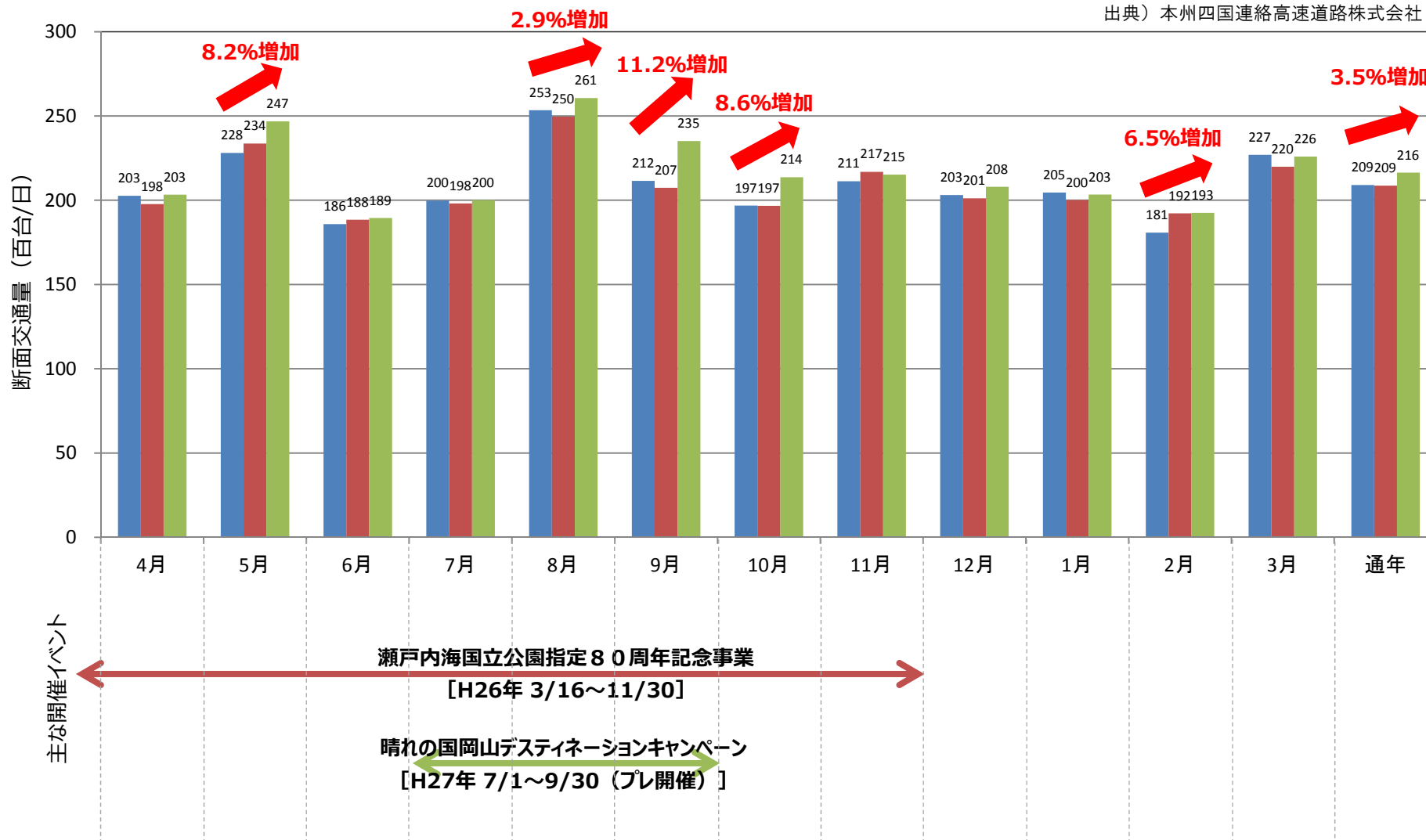
平成27年4月以降の交通量の変化（瀬戸大橋）

○瀬戸中央自動車道（瀬戸大橋）の平成27年度の平均断面交通量は、過去2箇年に対し増加傾向。

【瀬戸大橋断面の日平均交通量の変化（■H25年度⇒■H26年度⇒■H27年度）】

※増減率はH27年度/H25年度
グラフの交通量は100台単位で表示しているため、増減率の数値と合わない可能性がある

出典）本州四国連絡高速道路株式会社



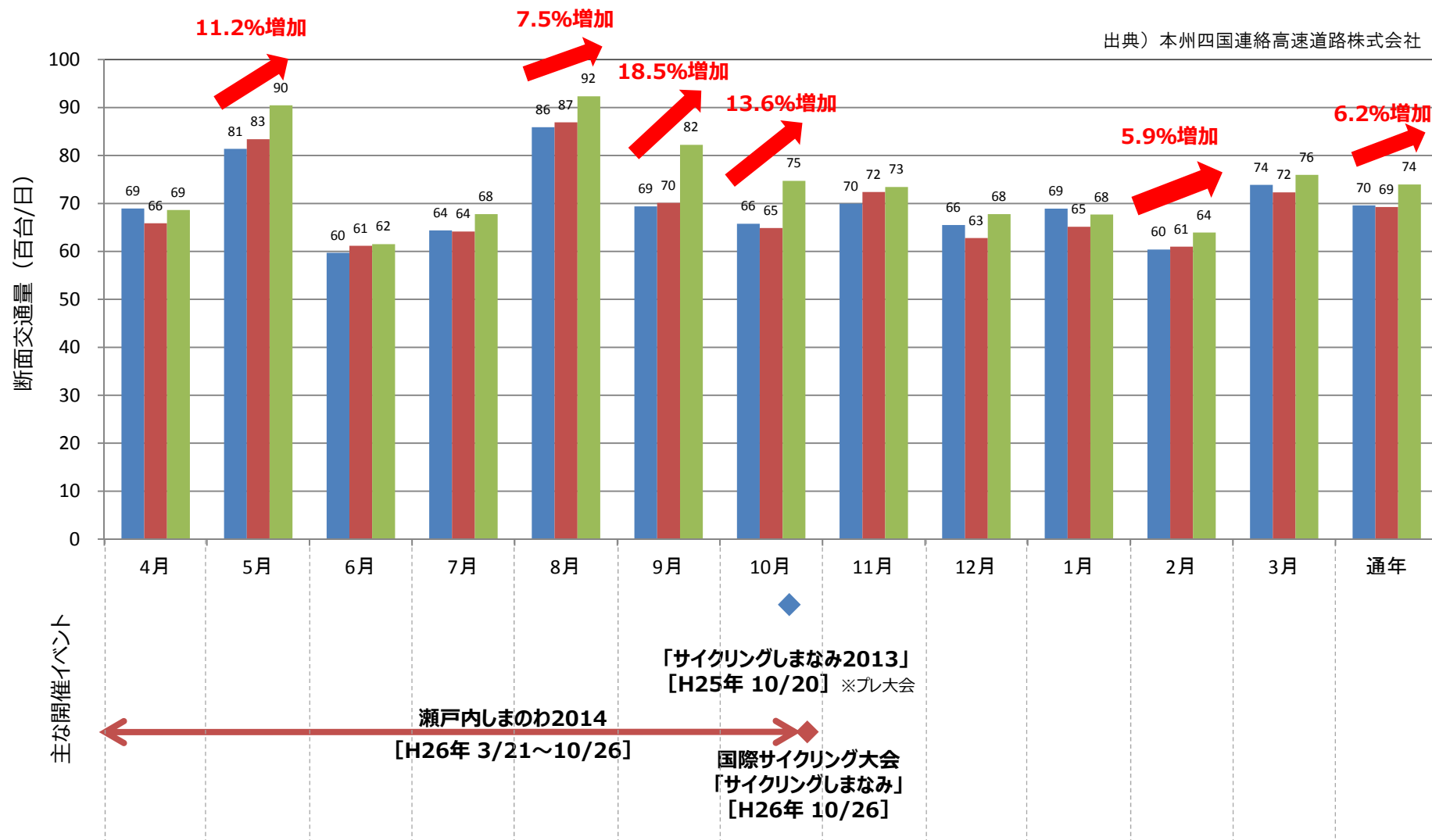
平成27年4月以降の交通量の変化（多々羅大橋）

○西瀬戸自動車道（多々羅大橋）の平成27年度の平均断面交通量は、過去2箇年に対し増加傾向。

【多々羅大橋断面の日平均交通量の変化（■H25年度⇒■H26年度⇒■H27年度）】

※増減率はH27年度/H25年度
グラフの交通量は100台単位で表示しているため、増減率の数値と合わない可能性がある

出典）本州四国連絡高速道路株式会社



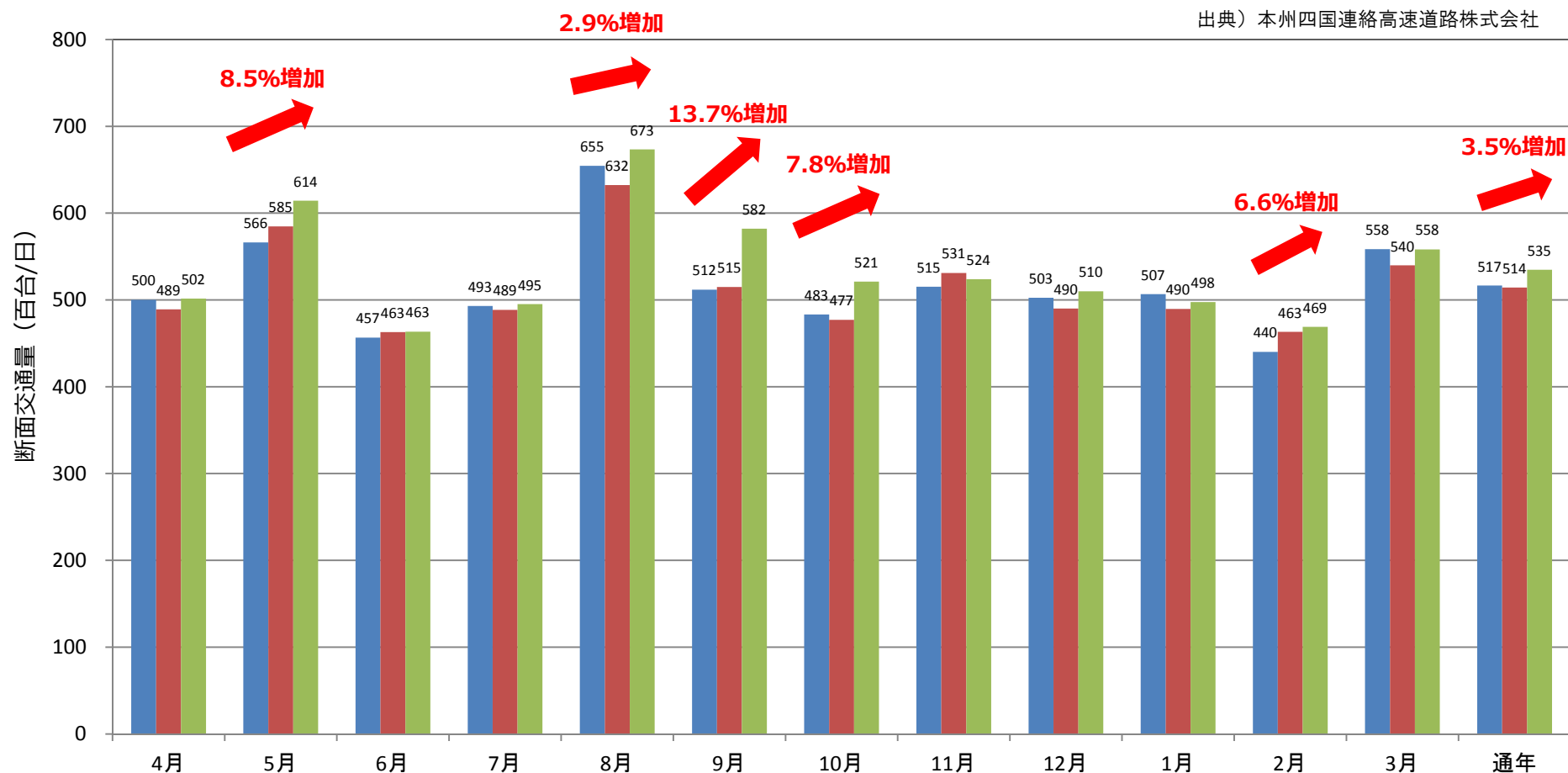
平成27年4月以降の交通量の変化（県境3橋合計）

○本四3橋の平成27年度の平均断面交通量は、過去2箇年に対し増加傾向。

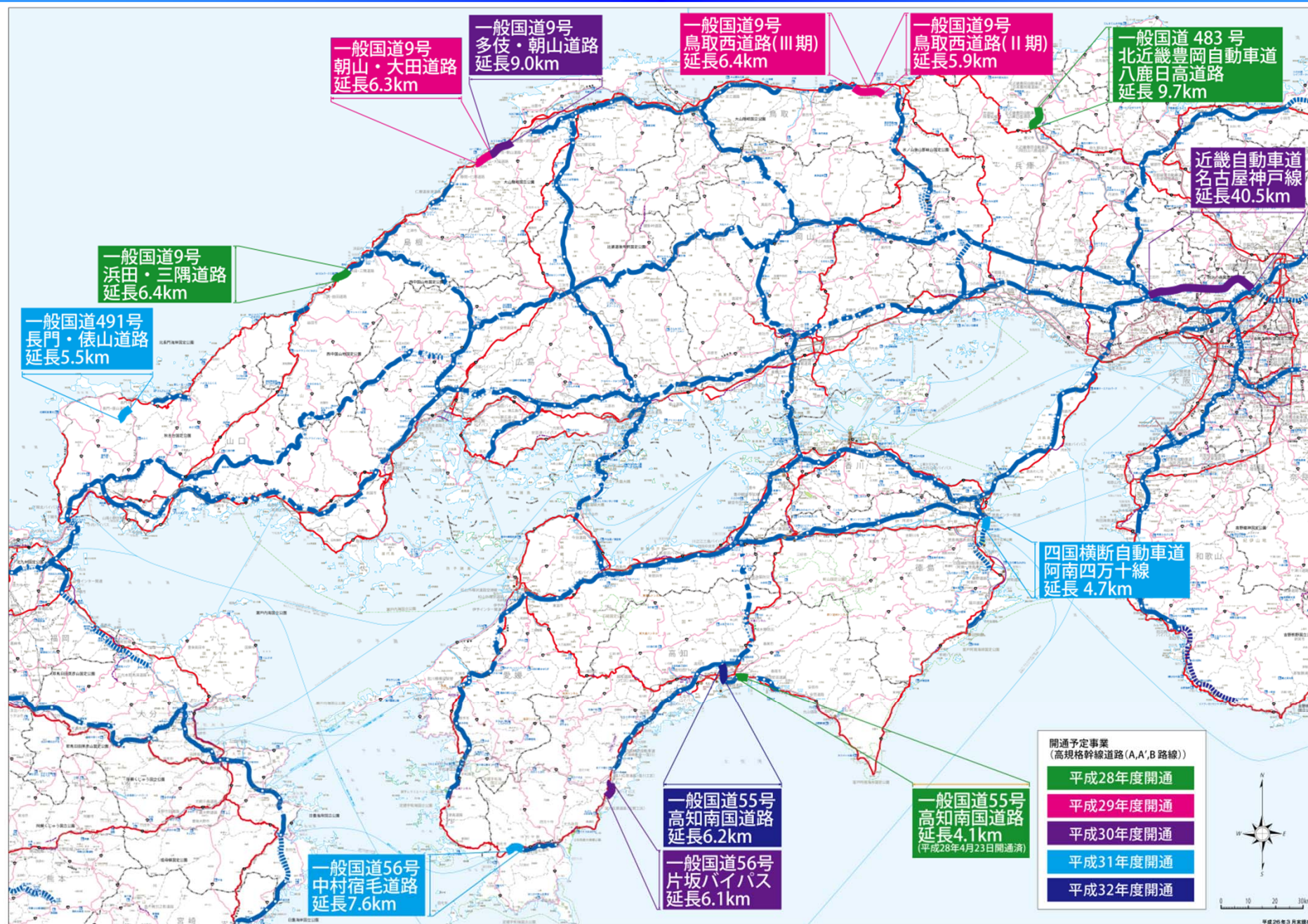
【3橋合計の日平均交通量の変化（■H25年度⇒■H26年度⇒■H27年度）】

※増減率はH27年度/H25年度
グラフの交通量は100台単位で表示しているため、増減率の数値と合わない可能性がある

出典）本州四国連絡高速道路株式会社



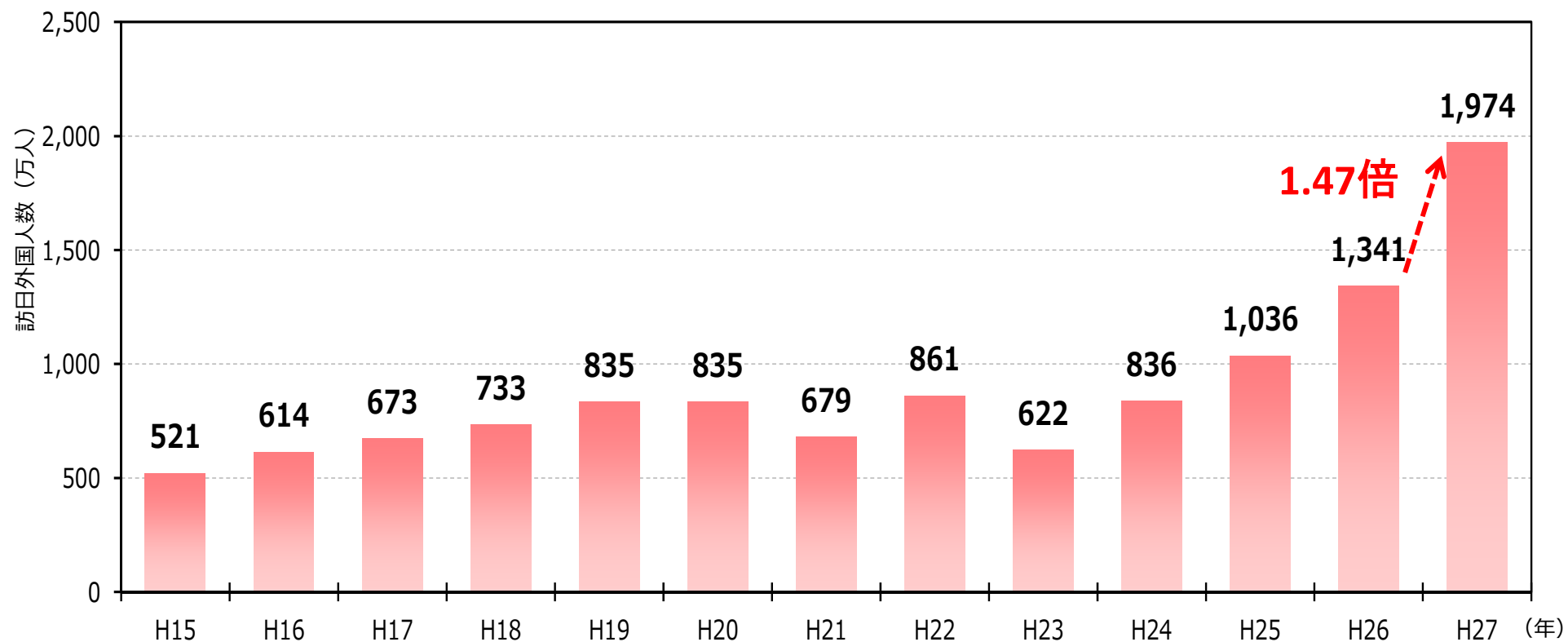
高規格幹線道路の開通見通し状況（平成28年度以降開通予定）



訪日外国人数の推移

○H27年の訪日外国人数は過去最高の1,974万人を記録し、H26年から1.47倍に増加している。

◆訪日外国人数の推移（全国値）



注1) 出典：日本政府観光局（JNTO）

平成27年1～10月は暫定値、11～12月は推計値を使用。

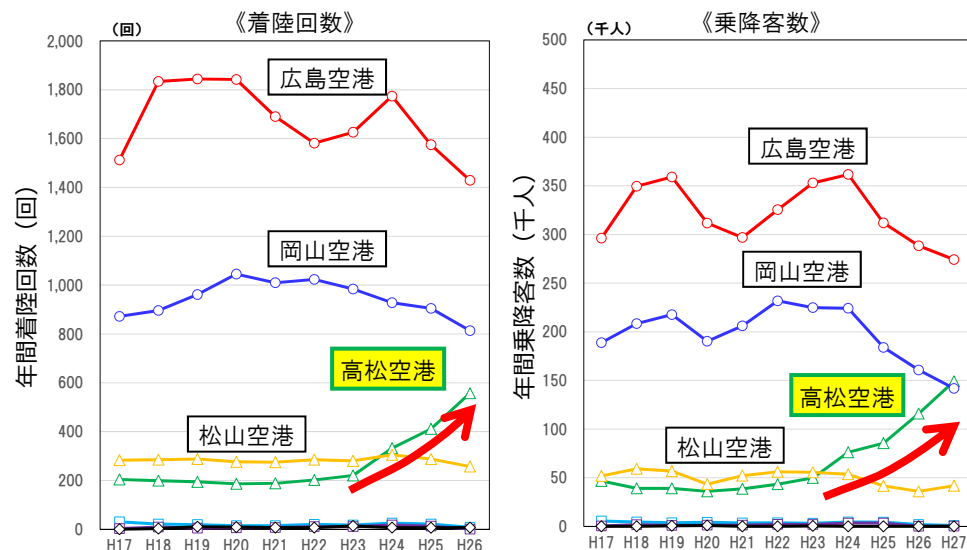
注2) 本資料に掲載している平成27年（2015年）の数値はすべて速報値。

高松空港を玄関口とした訪日の活発化

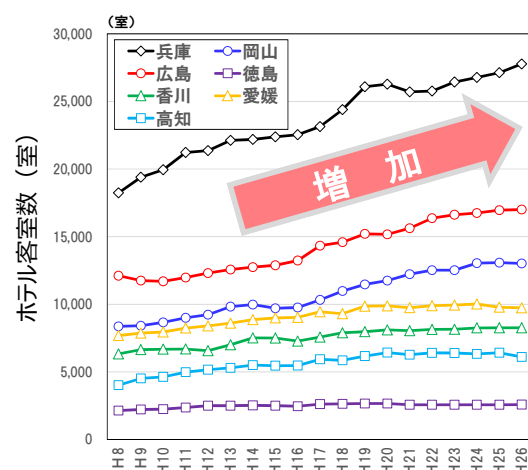
【参考】

- 高松空港の国際線が増えるに伴い、香川県から入国する訪日外国人が増加。
- 高松空港から四国外の周辺地域に約35%の方が訪れており、増加する傾向にある。
- 環瀬戸内海地域のホテル客室数は増加傾向にあり、当地域で宿泊する外国人は大幅に増加している。

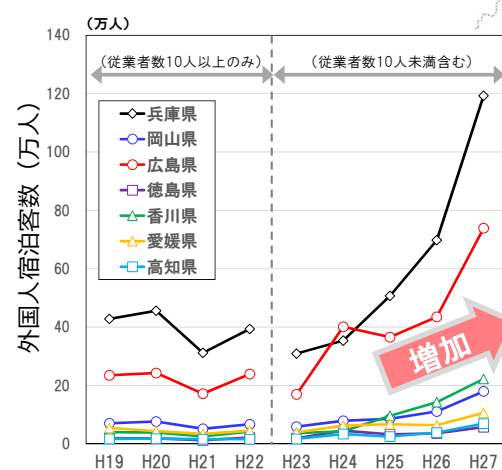
◆国際線の着陸回数・乗降客数の推移



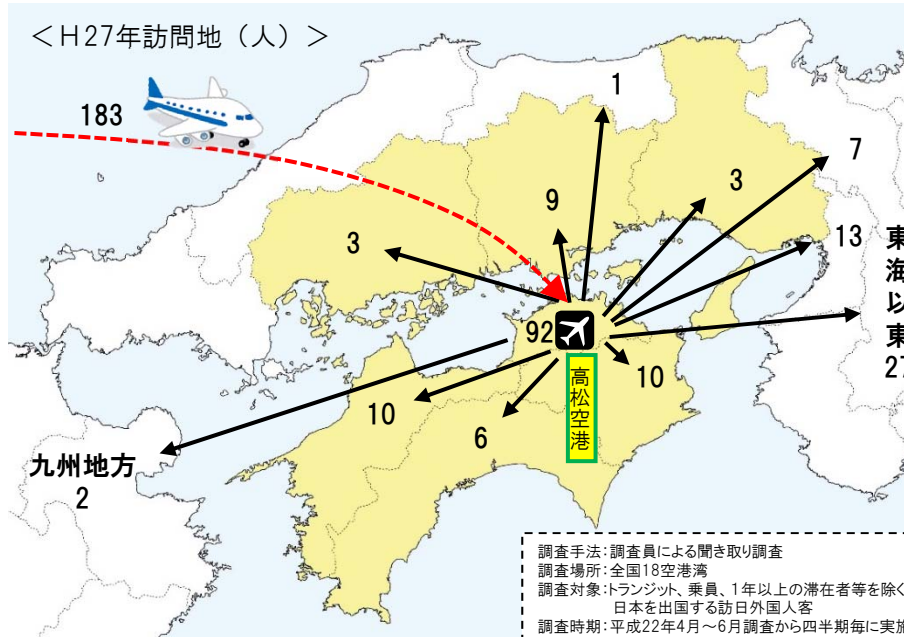
◆ホテル客室数の推移



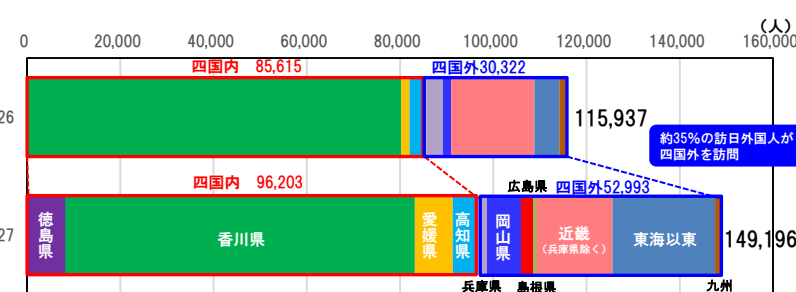
◆外国人宿泊客数の推移



◆高松空港入国後の訪日外国人の訪問地



《高松空港から入国した訪日外国人の訪問地内訳》



出典) 国際線着陸回数、乗降客数は、国土交通省「空港管理状況調査(暦年)」
 訪日外国人の訪問地は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」
 ホテル客室数は、厚生労働省「衛生行政報告例」、外国人宿泊客数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」